

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2015年3月25日

宮城県・東長町児童館「マイボックス作り」

春休みになったばかりの東長町児童館。定員いっぱい20名集まってくれた子どもたちは、くじ引きをして1番を引いた子から順に好きな箱を選んで席につきます。

そこから始まる作品づくり。使いたい材料を持ってゆき、作業はスタート。今まで何回もやってきた「マイボックス」では見られなかった技法、カッター使いが伝播します。箱の蓋をまっぴたつにして、観音開きの蓋を仕上げた男の子を皮切りに、箱に窓をつける子どもたち多数。なかには、その箱をびっくり箱仕立てにして、なかに飛び出す人形を仕込むツワモノ女の子まで！います。

石、割りピン、ひもに、ふっとく束ねたモールなどを使って、個性的な作品をつくった男の子。ここのテーブルで作業をしていた男の子4人は、すべてアーティストック。箱の蓋に、時計の針、持ち手のようなモールの飾りがくっついた作品もあります。

綿のひもを使って、箱自体をぶら下げられるようにしたのも、ここ東長町児童館ではじめて出て来た「技」でしたね。

フェルト地をていねいに箱にあわせはりつけた作品は、なんだかとっても美味しそう。最初に「できた！」で写真を撮ったのに、またその上に貼れるフェルトをモザイク状につけて、片付ける頃には、また別の作品となっていた女の子もいました。

思いついたことを試してみても、ちょっと失敗しても、それはこれからの尊い糧となるものづくり。頭で描いて、手を動かして、なにかを完成までつくるって、やっぱりみんな楽しそうだったな。

